

# 第33期 株主通信

2020年4月1日▶2021年3月31日

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご支援ご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。当社第33期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）における事業と連結決算の概況につきましてご報告申し上げます。

当期は8月に当社東京オフィスの移転を実施し、営業拠点と開発拠点の充実を図りました。また新製品のリリースやプロモーション活動も積極的に実施しましたが、新型コロナウイルス終息の見通しが見えない中で、業績向上を図るにおいては、厳しい1年となりました。

当社グループにおいてはさらなる飛躍を遂げるためのチャレンジを続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年6月



代表取締役社長 三宅 登

## 事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界規模で拡大する新型コロナウイルス感染症に伴い、外出自粛や休業要請、緊急事態宣言の発出などの影響により、個人消費や企業活動が著しく制限され、急速に景気が悪化しました。一部で持ち直しの動きがみられたものの、再び緊急事態宣言が発出されるなど新型コロナウイルス感染症の終息の見通しは立っておらず、経済活動の抑制傾向は長期化することが懸念されています。

国内の情報サービス業界では、ビジネスや生活を柔軟に変化させるDX(デジタルトランスフォーメーション)を活用した働き方改革への取り組みなどを背景に、生産性向上や業務効率化を目的とした企業のシステム投資需要は引き続き高い状態にあるものの、先行き不透明な景況感の中で投資判断には慎重な動きも見られました。

このような状況の中、当社グループは、顧客の業務効率化並びに付加価値創造を支援し、顧客満足度をより一層高めるべく努めてまいりました。当社の主力製品である「社労夢(Shalom)シリーズ」は、社会保険、労働保険等に関する業務支援システムとして、既に2,500を超える社労士事務所に幅広く導入いただいております。また、一般法人企業向け製品である「Company Edition」シリーズ、年末調整支援ツールである「eNEN」、2020年7月に新たにリリースした「Cloud Pocket」に関しても、マーケティング活動を強化し販売拡大を図りました。CuBe事業においては「GooooN」の機能強化を行い、販売ルートを拡大するためのマーケティング活動を強化する等、業容拡大を図りました。

当連結会計年度におきまして、当社東京オフィスを移転いたしました。移転先の新しい事務所には、業務の緊密な連携と経営効率化を目指すことを目的に、当社東京オフィスの他、連結子会社および協業する法人等が同時に移転いたしました。これに係る協業する法人等からの受取賃貸料28,437千円を営業外収益、賃貸収入原価25,280千円を営業外費用として計上しております。

その結果、当連結会計年度における業績は売上高2,439,074千円(前期比2.5%増)、売上原価1,238,421千円(前期比4.6%増)、売上高に対する売上原価の比率50.8%(前期比1.0ポイント増加)、売上総利益1,200,652千円(前期比0.4%増)、営業利益219,543千円(前期比30.2%減)、売上高に対する営業利益の比率9.0%(前期比4.2ポイント

減少)、経常利益218,938千円(前期比30.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益137,919千円(前期比30.0%減)となりました。また、当社グループが重要な経営指標と考える自己資本利益率(ROE)は、連結ベースで10.5%(前期比6.0ポイント減少)、当社単体では10.3%(前期比8.4ポイント減少)となりました。

### (社労夢事業)

社労夢事業においては、働き方改革やテレワーク推進のための業務効率化の必要性を背景に、主要顧客である社会保険労務士市場のみでなく、一般法人市場においてもシステム導入意欲が高まっております。一方で、競合による新規参入が散見され、価格面も含め競争の激化が予想されます。

当連結会計年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の中、毎年出展し多くの企業の引き合いにつながっている人材関連ソリューションの専門イベント「Human Capital2020」が中止になった他、当社主催のセミナーや操作説明会もリアル開催の中止を余儀なくされるなど、対面営業に制限がかかる事となりました。また社会保険労務士市場、一般法人市場共に、決裁権限者や人事担当者の繁忙による商談や導入作業の遅れが発生しました。

このような状況の中、当社はまず、社員の安全確保のため、一部テレワークや時差通勤を導入するなど感染拡大の防止に十分注意する一方、全社員に対する特別手当を支給するなどの対応をいたしました。また営業面においては、社労夢製品のフォローアップ説明会や各種セミナーをオンラインで開催し、お客様とのコミュニケーションを電話やオンラインを活用したものに切り替えるなどの施策を実施すると共に、Webサイトを活用したプロモーション活動の強化なども進めました。また、中小企業向け製品「DirectHR」や2020年7月に新たにリリースした「Cloud Pocket」、株式会社ビジネスネットコーポレーションより事業譲受により引き継いだ「eNEN(旧：年末調整CuBeクラウド)」の機能強化を図りました。

この結果、クラウドサービス売上高は、1,788,537千円(前期比7.8%増)となりました。主力サービスである社労夢製品のユーザー数が増加したことに伴う月額利用料の積み上がりに加え、一般法人企業の利用数が増加したことにより、ASPサービス売上高が1,639,541千円(前期比12.6%増)となりました。一方で、営業活動が制限された影響を受け、社労夢ハウスの受注及び一般法人企業の新規導入が伸び悩んだことにより、システム構築サービス売上高は148,995千円(前期比27.0%減)となりました。システム商品販売売上高についても、テレワーク移行の影響を受け102,991千円(前期比9.1%減)となりました。

前連結会計年度においては、開発体制の強化による労務費の増加やソフトウェア償却費の増加により売上原価が増加しました。また、東京オフィス移転によるオフィス賃料等のコストが増加することにより、販売管理費が増加しました。

以上の結果、社労夢事業の売上高は1,929,979千円(前期比8.2%増)となり、売上総利益は1,005,654千円(前期比0.5%減)、営業利益は221,597千円(前期比38.2%減)となりました。当社グループで重要な経営指標としている売上高に対する営業利益の比率は11.5%(前期比8.6ポイント減少)となりました。

### (CuBe事業)

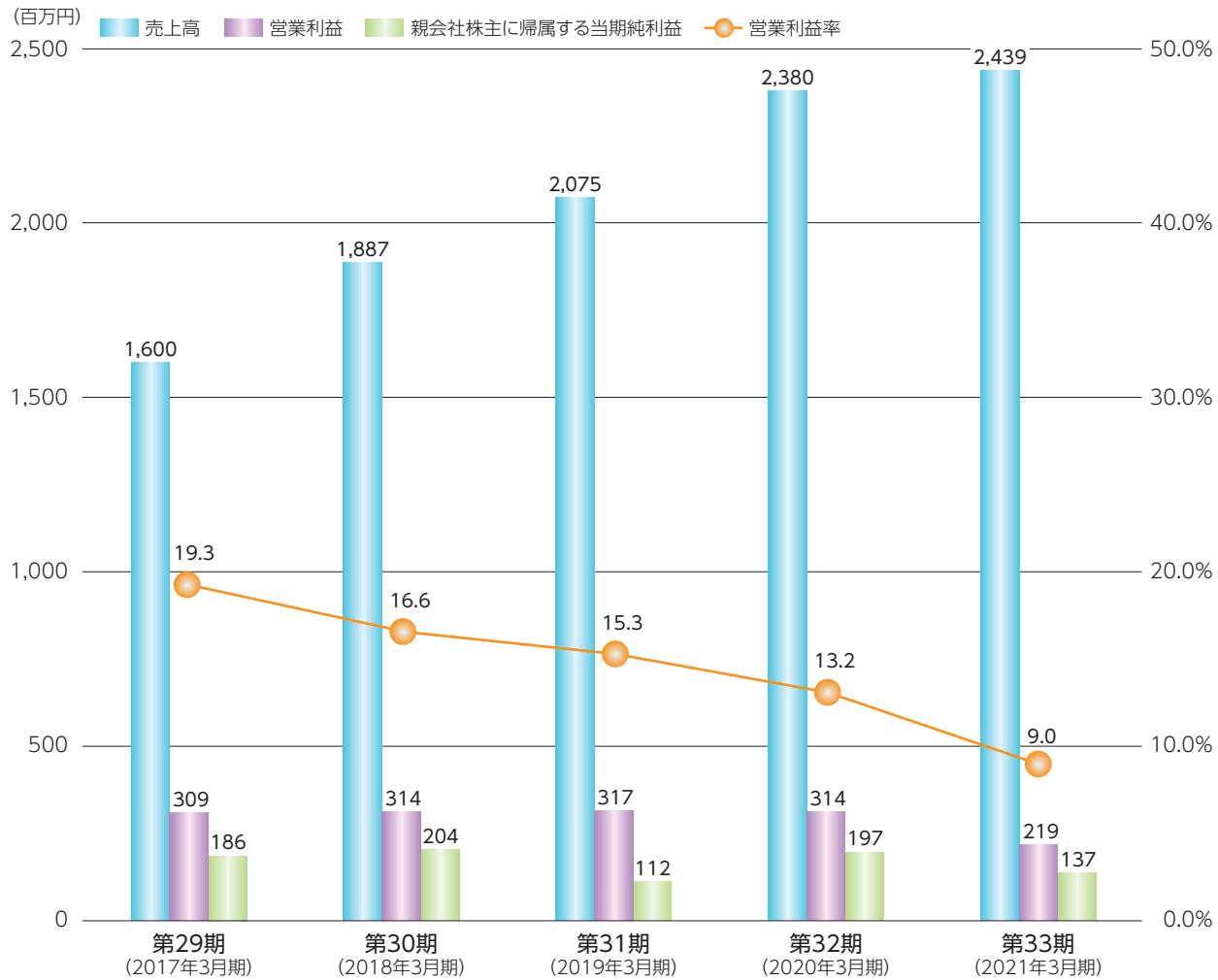
CuBe事業では、大手企業の人事総務部門向けに業務プロセスの効率化を目的として個社毎にカスタマイズしたフロントシステムの受託開発と、大手企業向け受託開発を通じて蓄積したノウハウを活かし、中小企業での利便性を実現したクラウドサービスの提供を行っております。

前連結会計年度において、「年末調整CuBeクラウド(現：eNEN)」を株式会社ビジネスネットコーポレーションから親会社である株式会社エムケイシステムへ事業譲渡しました。

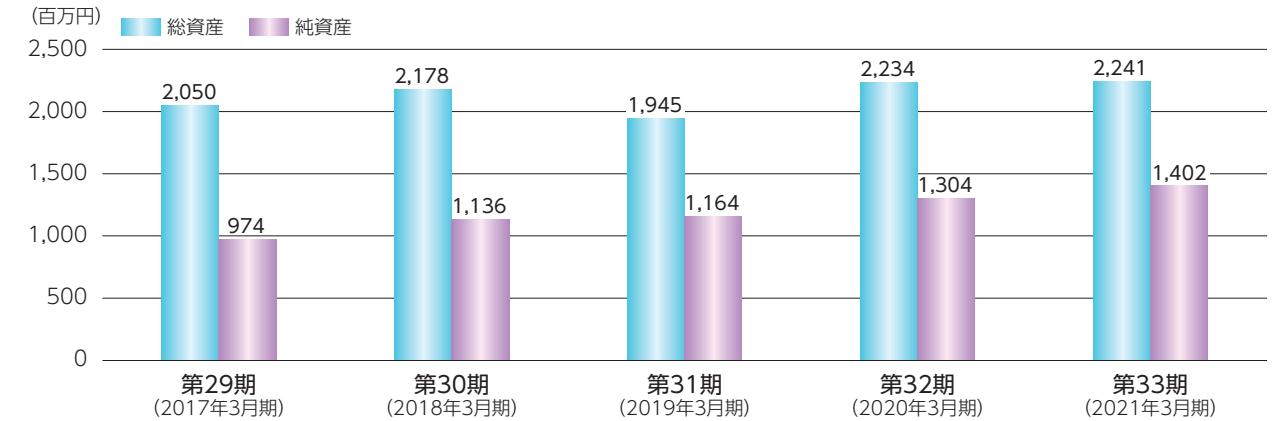
期初からの新型コロナウイルス感染拡大に伴い、商談及び導入作業の遅れが発生し、売上が前年同期を下回ったものの、開発体制を整備し効率化を図ることにより、利益率が大幅に改善することとなりました。

以上の結果、CuBe事業の売上高は550,459千円(前期比12.4%減)、売上総利益は194,983千円(前期比3.9%増)、営業損失は5,788千円(前期は46,263千円の営業損失)となりました。なお、CuBe事業の営業損失については、のれん償却額38,861千円を反映しております。

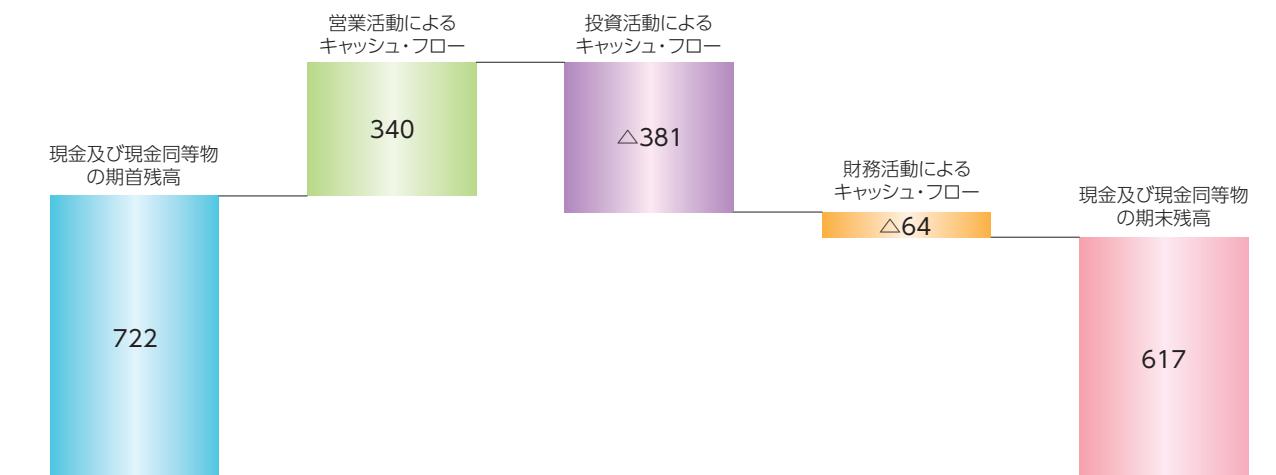
■ 売上高／営業利益／親会社株主に帰属する当期純利益／営業利益率



■ 総資産／純資産



■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (第33期)



社労夢事業

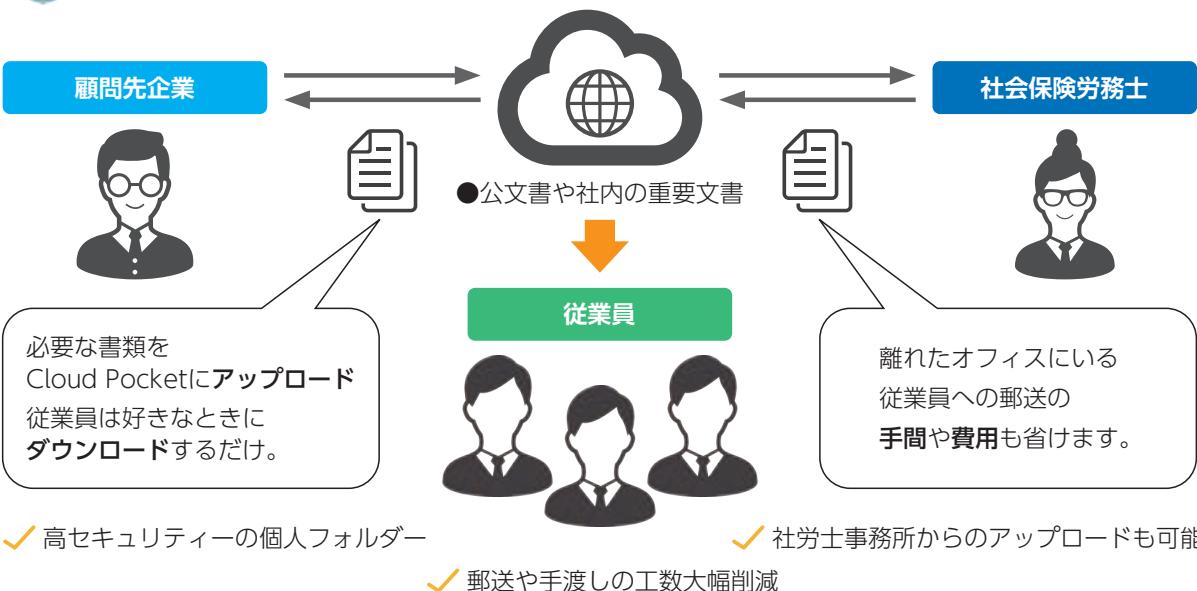
社労夢事業では、社会保険労務士事務所、労働保険事務組合及び一般法人における、社会保険、労働保険、給与計算等の手続きをサポートする業務支援ソフトウェアをASP方式によりサービス提供を行っています。

社労夢事業の販売区分は大きく「クラウドサービス」、「システム商品販売」、「その他サービス」に区分できます。「クラウドサービス」は、ASPサービスの提供や各種サポートにより月額使用料を徴収する「ASPサービス」及びASPサービスの稼働に至るまでの初期設定等の準備作業やホームページ作成及び当社システムのカスタマイズを行う「システム構築サービス」で構成されます。また、「システム商品販売」では、ASP稼働に付随した商品や端末機器の販売、サプライ商品（給与・労働保険関連帳票等）及びシステム機器等の販売を行います。これらに該当しない社会保険労務士や一般法人の人事総務部門に対して提供する「その他サービス」に区分しております。

主力サービスのご紹介 (Cloud Pocket) **NEW!**



公文書の配付や受取を手軽に安全に行えます。離職票や受給資格確認通知書、労災通知書などの公文書や社内の重要文書を渡す手間を省けます。

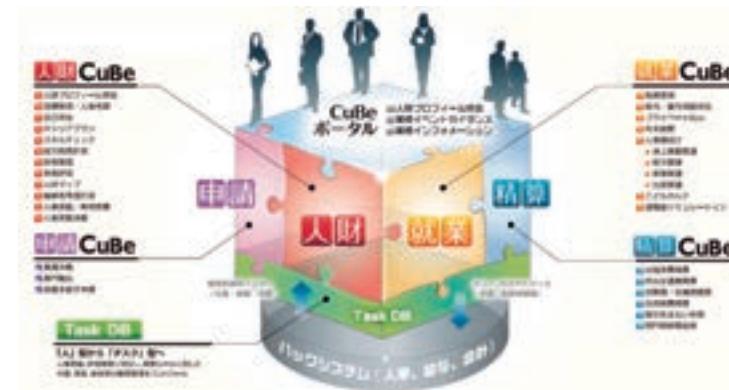


CuBe事業

CuBe事業では、大手企業の人事総務部門に対し、業務プロセスに着目したコンサルテーションを行い、業務の効率化に資するフロントシステムを、顧客ごとにカスタマイズし開発、提供する「受託開発パターンメイド」と、蓄積された経験をもとに開発した人事考課システム「GooooN」があります。

サービス概念図

主力サービスのご紹介 (受託開発型パターンメイド)



主力サービスのご紹介 (GooooN)

大企業で20年以上使われてきたノウハウを凝縮した現場で日々使える、最新の評価・育成ツール

GooooN は、3つの業務を連携し、本人とのコミュニケーションを深め、現場主導の人材育成をお手伝いします。

- 1 実業務**の遂行評価を通し、成長を促す  
 目標管理・人事考課
  - 経営側の意思をもっと社員に周知したい
  - 社員が積極的に取り組みたい目標管理にしたい
  - 目標管理を会社業績向上に結び付けたい
- 観点の異なる情報を **関係者で共有**し、日常的な成長を促す  
 人財プロフィール照会
  - 部下がどんな人がタイムリーに知りたい
  - 人事データを一元管理し活用したい
  - 社員のキャリアアップを応援する仕組みが欲しい
  - 社員と人事部を直接つなぐ窓口が欲しい
- 将来のキャリアを考え **本人希望**を持って成長を促す  
 自己申告・キャリアプラン
  - 今の自分の立ち位置と将来なりた姿を考えたい

## 社労士事務所向け販促活動実績

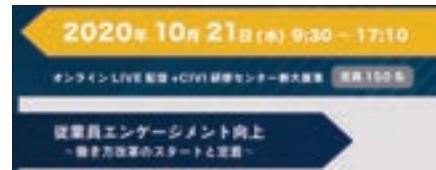
## 社労士向けオンラインセミナー(34回) 社労夢ユーザー会 オンライン+現地開催(9回)

2020年4月5日 社労士向けセミナー  
「今すぐ始める社労士事務所のテレワーク」2020年7月 社労士向けセミナー  
「助成金活用による社労夢ハウス導入」2020年8月9日 社労士向けセミナー  
「WEB年末調整と顧問先提案イメージ」2020年8月9日 社労士向けセミナー  
「勤怠システムの提案ノウハウご紹介」2021年1月 社労士ユーザー向けセミナー  
「社労夢V5.0 移行説明セミナー」2021年3月 社労士向けセミナー  
「社労夢V5.0とeNENで業務効率アップ」

## 一般法人向け販促活動実績

## リバイバル・マネジメント・フォーラム事務局主催オンラインイベントへの参加、セッションを実施

オンラインセミナーへ、合計211名の大手企業の人事・総務担当者様が参加



▲フォーラム内で当社実施のセミナー

## MKS主催の主なセミナー

- 2020年4月28日セミナー  
「テレワーク時代に応える！社労夢で簡単どこでも電子申請」
- 2020年5月15日セミナー  
「電子化で年末調整業務がここまで変わる！年末調整クラウド導入」
- 2020年6月24日セミナー  
「ニューノーマル時代への移行 働き方を変える第一歩」
- 2020年10月28日セミナー  
「健保組合電子化の対応と新製品のご案内」

## BNC主催

- 人事評価システム関連 (5回)

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見えない状況であり、先行き不透明な状況が続くと見込まれます。また、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクが懸念されます。

当社グループがサービスを提供する人事労務関連市場においても、企業業績の悪化から、設備投資意欲の鈍化が見込まれ、厳しい状況となることが予想されます。一方で、感染症対策も含めた働き方改革への取り組みなどを背景に、業務を効率化する目的や、多様な働き方をサポートすることを目的としたシステム投資については必要に応じて継続されることが見込まれます。

この様な中、社労夢事業においては、社労夢 (Shalom)、DirectHR、eNENなどの各製品群の品質向上と機能拡充を進めると共に、新社労夢 (Shalom V5.0) への移行を確実に進めることにより、社会保険労務士市場のシェア拡大を目指します。また法人向け営業・開発部門を一層強化して、一般法人市場の開拓をより加速させます。

利益面においては、開発体制の強化に伴う労務費の増加による売上原価の増加、顧客獲得の増大を目的としたデジタルマーケティング強化に伴う販売促進費が増加することにより、利益率は悪化する見込みであります。

一方、CuBe事業においては、クラウドサービスである「GooooN」(人財CuBeクラウド)のマーケット拡大を目指し、様々なルートを通じたアプローチを積極的に進めます。大企業向けCuBe製品の受託開発においては、引き続き大型案件を開発・納品すると共に、改修案件、保守業務を確実に遂行することにより、安定した収益貢献を目指します。

以上により、2022年3月期の連結業績につきましては、売上高2,892百万円(前期比18.6%増)、売上総利益1,395百万円(前期比16.2%増)、営業利益220百万円(前期比0.2%増)、売上高に対する営業利益の比率7.6%(前期比1.4ポイント減少)、経常利益219百万円(前期比0.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益138百万円(前期比0.2%増)を見込んでおります。

## 株式の状況 (2021年3月31日現在)

### 株式の状況

(1)発行可能株式総数	16,000,000株
(2)発行済株式の総数	5,428,000株
(3)株主数	3,383名

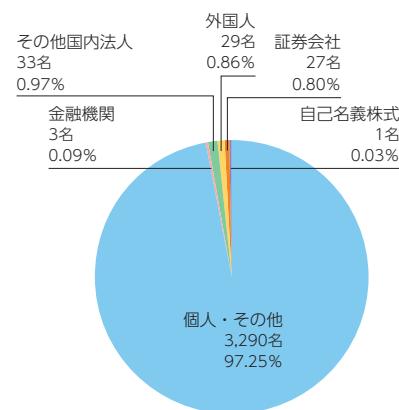
### 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
株式会社エヌエムファミリー	1,200,000株	22.11%
重田 康 光	233,100	4.29
MSIP CLIENT SECURITIES	201,300	3.71
エムケイシステム従業員持株会	169,871	3.13
株式会社穂乃ハウス	140,000	2.58
J. P. MORGAN SECURITIES PLC	126,200	2.33
朝倉 嘉 嗣	123,000	2.27
株式会社日本自動調節器製作所	100,000	1.84
宮本 妙 子	96,500	1.78
中村 一 三	85,000	1.57

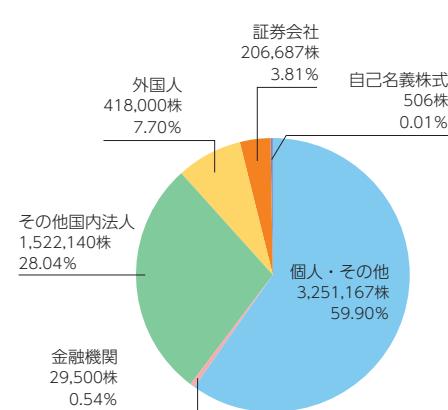
(注) 持株比率は、自己株式(506株)を控除して計算しております。

### 株式分布状況

#### 株主数構成比



#### 株式数構成比



## 会社の概要

### 役員状況 (2021年6月22日現在)

代表取締役社長	三宅 登
取締役	石原 久史
取締役	宮本 妙子
取締役	藤野 雅憲
取締役	野村 公平
監査役(常勤)	奥田 充啓
監査役	石川 勝啓
監査役	渡部 靖彦

### 会社の概要

会社名	株式会社 エムケイシステム (MKSystem Corporation)
設立	1989年 2月
本社所在地	〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル30F
従業員数	連結：136名 (2021年3月31日現在)

### グループ会社

会社名	株式会社 ビジネスネットコーポレーション
本社所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目10番4号 オークラプレステージタワー18階

### 株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日 まで
定時株主総会	毎年6月開催
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	3月31日、9月30日
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店

同連絡先・郵便物送付先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 フリーダイヤル：0120-707-843 (受付時間 土・日・祝日・年末年始を除く 平日9時～17時)
各種事務手続き	日本証券代行 インターネットホームページURL <a href="https://www.jsa-hp.co.jp/name/procedure/index.html">https://www.jsa-hp.co.jp/name/procedure/index.html</a>
公告掲載方法	電子公告とします。 (当社の公告掲載URL) <a href="https://www.mks.jp/">https://www.mks.jp/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。



MKSystem Corporation

## ホームページのご案内

<https://www.mks.jp/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

